

# 3級

## ネイリスト 技能検定試験 実技採点基準

### 合格基準

「採点」は5点満点法で採点します。  
5点…良い  
4点…合格ラインに達している  
3点…合格には少々不足している  
2点…良くない  
1点…悪い

**【合格の基準】** ○50点満点で、38点以上(減点を反映した合計得点)  
○失格対象に該当していない  
**【不合格の基準】** ●50点満点で、37点以下(減点を反映した合計得点)  
●失格対象に該当している

採点項目		チェックポイント
①-1	テーブルセッティング&消毒管理 ※事前審査含む	7) 事前にポリッシュが塗られていないこと。 1) 手指消毒は手の平、手の甲、指先、指間にいたるまで擦式清拭する。手に直接、噴霧(スプレー)することは禁止。但し、落とした物を消毒する際に清拭消毒を行えない場合は、試験会場という限られた現場での対応として噴霧(スプレー)しても良い。※手指消毒に関しては実技試験中の採点に含まれる。 4) 用具、用材が衛生的に処理され、品名ラベルを貼付し、正しくセッティングされていること。テーブルセッティング及び試験中は、アームレスト、ペーパータオルの上で施術を行い、モデルハンド、用具、用材をテーブルに直置きしないこと。※ペーパータオルは、アームレスト手前の施術スペースを覆うサイズをセットすること。 5) ウェットステリライザーには、キューティクルニッパーの刃先が浸る程度を目安に消毒液を入れ、中にキューティクルニッパー・ピンセット・ウッズスティック・メタルプッシャー等がセットアップされていること。
	モデルの爪	6) モデルの爪はイクステンションされた爪(バーチャルを含む)やりペア(グルーオンを含む)した爪が2本以内であること。1週間以内にキューティクルクリーンやファイリング等をしていないこと。 7) モデルは15歳以上であり、爪及び爪周りの皮膚に疾患が認められないこと。
①-2	モデルハンドの状態	8) モデルハンドの状態について ・JNEC認定ラベルが貼付された右手・左手のモデルハンドを使用すること。 ・キューティクル周りに著しい汚れ、目立ったキズ等がない、状態が良いものを使用すること。 ・モデルハンドは事前にJNEC認定ルースキューティクルを貼付した認定チップが10本適切に装着されていること。事前に認定チップの長さ、形に手を加えないこと。 ・人の手と同様に丁寧に扱い、施術すること。 ・モデルハンドを固定するためのアームや吸盤等は使用禁止。 ・文字や線、目盛を記入したモデルハンドは使用禁止。 ・試験中、認定チップが外れた場合はすぐにつけ直すこと。認定チップが装着された状態で施術すること。(装着していた認定チップが試験会場に来る際に取れた場合は、実技試験時間内につけ直すこと。事前審査の際はモデルハンドと共に外れた認定チップを並べておくこと。) ・試験終了時には全ての指を伸ばし、全ての指に認定チップが装着されていること。
②	ファイル・エメリーボードの扱い方 ※工程審査有	9) エメリーボードやエメリーボードと同等の形状のファイルを使用していること。 10) ウォッシュブルファイルを使用しないこと。(モデルに施したイクステンション、リペアを除く)ファイリングの往復がけをしないこと。 ※ファイリングの前にネイルニッパーの使用可。(チップカッターは使用禁止)
③	ラウンド 仕上げ	11) ラウンドに整えていること。 12) 10本の形が整えられ、長さのバランスがとれていること。
④	プッシャーの使用 ※工程審査有	13) ブラシダウンをを行うこと。 14) ケア用水を使用し、メタルプッシャーでプッシュバック・プッシュアップを10本の爪に行うこと。その際、キューティクルクリームまたはキューティクルリムーバーを使用すること。
⑤	ニッパーハンドリング ※工程審査有	15) キューティクルニッパーを10本全てに使用していること。 16) ケア用水を使用し、ガーゼクリーンを10本に行い、その際ガーゼを引きずることのないように衛生的に配慮すること。
⑥	クリーンナップ仕上げ	17) ささくれ等が処理されていること。 18) 受験生、モデルともに手指への損傷を与えていないこと。モデルハンドにキズ・ささくれがないこと。 19) 受験生、モデルともに出血等の負傷を与えていないこと。モデルハンドのキューティクル周りに著しい汚れ、キズ等をつけていないこと。
⑦	カラー表面 色ムラ ※工程審査有	20) 爪の表面及びエッジにもベースコート、カラーポリッシュ、トップコートが塗布されていること。10本すべてに赤ポリッシュが2度塗布されていること。
⑧	カラーラインどり	21) キューティクルラインが揃っていること。 22) キューティクルやサイドウォールに赤ポリッシュが付着した場合は修正されていること。また、サイドラインも塗布されていること。
⑨	ネイルアート	23) テーマに相応しいデザインであること。 24) アートは筆のみで描かれていること。
⑩	全体の仕上げ	25) モデルの手またはモデルハンドの扱い方が丁寧であること。 26) 器具が正しくスムーズに使用されていること。 27) 受験生、モデルともに規定を守り試験に臨むこと。 28) ヘアーは前に垂れてこないよう留める等、衛生的に配慮すること。手回りのアクセサリは時計のみであること。スマートウォッチ等の多機能電子機器は使用しないこと。 29) ゴミは持ち帰ること。

実技試験のチェックポイント